

共同制作★平成大流行「ウォーリーをさがせ」を作ろう

今年も晴香園フェスタを無事開催することが出来ました。今年のテーマはなんと「平成ラスト！」。次の時代へのかけ橋〜30年続いた平成。振り返るとたくさんの発明、流行がありました。平成に生まれ育った子どもたちが

平成ラスト！ 次の時代へのかけ橋



題字 山本健治先生

晴香園だより

第35号

発行
 児童養護施設 晴香園
 〒270-0011 千葉県松戸市根木内145
 電話 047(345)2722
 FAX 047(309)8807
 E-mail: info@s-haruka.org



遊びコーナーでも、平成ク

造・発信・交流の出来る機会となるようにこのテーマを掲げ、取り組んで来ました。子どもたちは、それぞれ自分がやりたい係に立候補し、お客様に喜んでもらえるよう準備も積極的に行ってくれました。食品コーナー、遊びコーナーそれぞれに平成を意識していたことはお気づきになりましたか？ まず食品コーナー。タピオカジュース、ワッフルは世間でもよく耳にする「インスタ映え」するような出来あがりでした。また、無形文化遺産として和食が登録された平成。炊きたてのおこわや鯉節も本格的に削り仕上げた出汁屋はお年寄りから子供までたくさんの方に「おいしい」という言葉をいただきました。

イズと題し、平成に起きた出来事等をクイズ形式で楽しむコーナーもありました。ウォークラリーでは、平成に流行ったアニメ(妖怪ウォッチやミニオンのキャラクターに扮しました。これも子ども達が一生懸命試行錯誤し、形となったものです。

そして、共同制作では下地の絵を中学2年生の女の子が連日夜遅くまで何度も何度も消しては書いてを繰り返しました。その下地の素敵な街並みにそれぞれ来園者の方が書いて下さった絵を貼り付け立派な作品が出来上がりました。完成した作品は、事務所玄関先に飾ってあります。来園した際は、ぜひご覧ください。また、昨年度に引き続き読書コーナーや子ども達が行っているボランティアの活動報告も行いました。読書コーナーでは音楽好きの職員がレコードプレーヤーを持参し、窓際のトットちゃんのみ聞かせレコードが流れる心地の良い空間がありました。

今年は天気にも恵まれ、子ども達の笑顔がキラキラと輝



お城の本と自分で描いたお城の絵

今年、新企画として小中学生を対象に子どもたちにさせたい社会体験を募集し、プレゼンテーションを行いました。当日3つのプレゼンが行われ、個性あふれる発表でした。

ドリームチャレンジ

いていました。後援会の方々、ボランティアの方々、今年度もたくさんのご協力をありがとうございました。そして何より多くの人に足を運んで貰い、平成ラストのフェスタを気持ちよく締めくくることができたのでないかと思えます。さあ、次はどんな時代になるのでしょうか。不安と期待に胸を膨らませ、次の時代に向かってレッツゴー!!

「あと6泊くらいしたかったなあ」とお城への興味は尽きることがないようです。

さて、こうしてTくんの夢の旅は終わったわけですが、せっかくなので機会だったので園に戻ってから、夏休みの自由研究として「姫路城の巻」を作って思い出を形に残しました。最後に、そこにTくんが書いたまとめの言葉を紹介します。「姫路城にはたくさんおもしろかったのは石落としだった。でも姫路城で戦が行われたことはない」とガイドさんが言っていた。でもそれではよかった。ぼくは戦争はよくないと思う」

将来について考える ～山梨旅行～

8月16～18日に高校生6人を連れて、山梨旅行に行ってきました。今回の旅のテーマは「将来について考える」です。2日目の夜に行われる、「将来についてのミーティング」が最大のイベントです。



はしゃいだ水遊び

とはいえ、せっかく県外に2泊するので観光も楽しめました。専門のガイドさんと一緒に清里の自然の中をトレッキングしました。途中、よつばのクローバー探しや笹舟作り、虫採り等のネイチャーゲームを楽しみながら、より深く自然に親しみました。やつと辿り着いた溪流の横でお弁当を食べたあとは、川に足をひたして水遊びを楽しみました。

また、今回の参加者に最も好評だったのが乗馬です。最初は躊躇する子もいましたが、やってみると楽しかったと感じる子が多く、みんな馬の賢

さ、かわいさに癒されたようです。最後に馬をブラッシングしたり、なでたりすることもやらせてもらい、とても良い経験になりました。



癒やしの乗馬初体験

えていることが伝わってくる発表でした。その上で、ここを悩んでいる、不安に感じているということも、率直に口にし、3人からアドバイスをもらって、よりビジョンが明確になったり、今までなかった別の視点加わったりして、子どもたちにとって良い刺激となりました。

職員として嬉しい誤算だったのが、ただ発表して、アドバイスをもらって終わりではなく、子どもたち同士で、年上の子が年下の子に自分の経験を踏まえて助言したり、同じような悩みを持つ子に対して共感を示したり、ということが自然と起きたことです。今回参加した6人は園では4

さて、肝心の将来についてのミーティングですが、2日目の夜に、お菓子とジュースを囲みながら、和やかな空気で始まりました。後援会の松井さん、ボランティアの西澤さん・中澤さんという人生の大先輩3人を前に、緊張しながらも自分の将来の夢や、考えている進路について発表しました。大学受験のこと、就職のこと、みんなしっかり考

います。

図書館司書体験

高校2年生のY君が司書という職業に興味を抱いていたため、職員間で実際の職場に触れる体験が出来たらと、松戸市立図書館へ協力をお願いしました。体験の主旨を理解下さった松戸市立図書館のご厚意により、8月23～24日にかけて中高生を対象とした職場体験を実現することが出来ました。今回参加したのは2名、高校1年生のYさん(女子)と、高校2年生のYくん(男子)です。

当然と言えば当然なのですが、図書館で利用者として本を借りる側にはなったことのあるものの、仕事として貸す側になったことは無い2人。初日には仕事場の雰囲気圧倒されたのか、二人とも緊張した面持ち。図書館の方の質問に対してもいつもよりトーン抑え目、言葉少なに答えていました。2日目、「二人と

ももう高校生。可愛い子には旅をさせよとも言おうしな…」と心配しながら迎えに行くところ、なんとということでしょう！本に囲まれ、職員の方々と談笑しながら作業を行っているではありませんか。さて、2人に何が起きたのでしょうか？本人達に聞いてみました。

感想

Y君

「僕たちのために仕事の時間を割き、職場体験の場を設けて下さったことに感謝しています。図書館の人達はカウンター業務をするということしか知りませんでした。ですが、この機会を通して他にもたくさんの仕事があり、数人だけでは仕事回らないと思いましたが、また、図書館司書の方々が市役所の職員であるということも初めて知りました。今回、職場体験を二日間体験させて頂きましたが、特に印象に残っている業務はレファレンスです。この作業は一つのことを調べるために何冊か本を持って来て探すと、作業が最初は見つけるのが

大変でしたが、見つかった時の達成感は大きかったです。この職場体験という経験を通して、司書という仕事がある様なものかを知ることが出来ました。本当に良い体験が出来て良かったです。機会があればまた参加したいです。とても有難く思っています。図書館の方々にまたお会い出来た時には声を掛けさせて頂こうと思います」

Yさん

「先日の司書体験をさせて頂いたことを有難く思っています。予約在架リストや返却ポストの処理、カウンター業務や本の装備、リサイクル処理、POP作り、レファレンス体験等の貴重な体験が出来て楽しかったです。カウンター業務では本当に来た人と接して緊張しましたが、体験出来て凄く嬉しかったです。本の装備では、空気を入れないようにするのが大変でした。ですが2冊目ではほとんど空気が入ってなくて嬉しかったです。レファレンス体験では、自分の生まれた日の新聞を読めて、面白かったです。また、

有名人の人と誕生日が一緒で嬉しかったです」

なるほど、僅か2日の間で二人の変化にも納得がいくと言うものです。

二人の成長を感じつつ、これを機に更なるチャレンジを期待したいと思います。また、この経験が二人から園内の他児に伝わることで、将来への興味関心の輪が広がるよう、働き掛けていきたいと思っています。

松戸市立図書館の皆様方におかれましては、多忙な中子ども達のためにこの機会を頂いたこと、感謝に堪えません。本当にありがとうございました。

ご報告

シートルへの挑戦 （海外生活体験の旅）

前号で掲載しました、テレビ朝日福祉事業団主催の「高校生の海外生活体験の旅」に高校2年生のY君が参加してきました！児童養護施設の高校生対象7泊9日間、アメリカワシントン州シートルへ

の語学研修です。本人の感想をご報告します。

シートルに行つて感じた事は、とても過ごしやすいという事です。シートルに行く前から日本より涼しいということを知っていました。飛行機が日本の滑走路に降りついた時「降りたくない」と思うほどに、シートルは過ごしやすかったと、そこで改めて実感しました。また、大きな湖が多く、緑がシートルを囲んでおりとても雄大な景色が広がっていて、こう思いました。

アメリカの習慣で、洗濯物を週に一回程度しか回さないと聞いていたのにも関わらず、服を四日分しか持つて行つておらず、シートルについたときに、もっともっていけばよかったと不安に感じましたが、洗濯機が家の中にあつたため、洗濯機を使つてもいいか頼んでみたら使わせてもらえたのでよかったです。

今回の一つ目の目的であるコミュニケーションをとり、ネイティブの英語に慣れ、簡単な英語で会話をするという点では、ホストファミリーと

話す機会に、相手が言っていることを聞きとることが最初は大変でした。日が経つにつれてなんと言っているのか聞き取れるようになり、自分が知っている単語やフレーズを使つて、自分の事や疑問に思ったこと・自分が知ってる日本のことについて話す事が出来ました。

2つ目の目的であるみらいの森で自分が成長したリーダーシップを発揮し、困っている人を助けるという点では、集まった人が高2、高3ということもあり、リーダーシップを発揮する事はできませんでした。しかし、自分があげられることや、自分が気付けて相手が気付けていない所などは自ら進んで助けました。もちろん自分が困っている事があつたら仲間に向けて貰いました。

このプログラムに参加して一番思い出に残つたのは、ホストファミリーと一緒に過ごした週末です。土曜日にパレードを見に行った時には、自分のつたない英語でどうか自分の思いを相手に伝える

ことができ、短い会話をする事が出来ました。また同時に、自分の英語の話す力や聞く力が上がったなど思える瞬間でもありました。日曜日には、お祭りに行つて兄弟とおそろいのネックレスを買ってもらえて、兄弟になれたような気がしたこともとてもうれしく、いい思い出になりました。

このプログラムでは、大変なこともありましたが、そのことよりも、いい思い出がたくさんでき、自分の成長にもつながる、とてもいい経験を作せてもらえました。ありがとうございました。

自主練に励んだ卓球

8月21日に行われました千葉県児童福祉施設協議会主催の卓球大会に園のクラブで参加してきました。月2回の日暮先生のレッスンに加え月曜日と金曜日、土日の自主練習を行い大会に臨みました。また、いつもお世話になっておりますNPO法人若草YY

卓球振興会理事長高橋昌子様から頂きました新しい卓球台で日々卓球の練習に向かい自分のスキルを磨き子どもたち皆一生懸命頑張りました。大会では個人戦、団体戦と挑戦し個人成績では高校3年生のYちゃんが中高生の女子の部で強豪選手の中緊張しながらも健闘し2位になることが出来ました。

また男子団体女子団体戦でどちらとも大会3位の成績を収めました。子どもたちにとっても自信のつく大会になりました。帰路の表情も子ども達みんな誇らしげな表情で帰ってきて成績を報告し沢山の人が褒め言葉を頂きました。今後とも頂きました新しい台やボールを使ってクラブのみんなが頑張っていきたいと思っておりますので応援宜しくお願いします。



ほくもやりたい!! 5歳男児

新規会員ご入会 継続会員費納入

ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員会費納入ありがとうございます。

お名前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫言ひ申し上げます。また、その旨のご連絡を頂きたくお願い申し上げます。

(今号では、平成30年7月1日から平成30年10月31日までに、ご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます)

(敬称略・順不同)

【新規会員】

- 稲富 寿香子
- 雪和食品株式会社
- 星野 良子 伊達 年子
- 渡部 進 遠藤 春美
- オйкаワサトシ
- 【継続会員】
- 助川 かつ美 山田 英明
- 島田 洋子 森下 智恵子
- 狼 栄子 竹下 敦子
- (株)押尾保険事務所
- 石井 田鶴子 齊藤 竜年
- 齊藤 成美 (株)ユーライフ
- 北條 秀明 (株)ライズ
- カンダ タカヨシ 堀井 豊

- 島田 美里 猿渡 英明
- 文入 加代子 岡田 安生

「晴香まなび基金へのご寄付
ありがとうございます

- 島田 陽子 高埜 洋子
- カンダ タカヨシ 浅川 文雄

心温まるご厚志
ありがとうございます

公益社団法人柏青年会議所

理事長 佐藤 正大

- 山崎製パン 松戸工場
- 従業員組合 松戸支部
- 福祉ネットワーク水の輪
- マルハン松飛台店
- 松戸遊技業防犯組合
- セカンド・ハーベスト・ジャパン
- 一般社団法人未来の子供達へ
- 誠建クリエート
- 小金原子ども食堂 高橋
- スタッフ コマノ設備
- 霜田 啓子・厨 英彰
- 嘉数 義克 日向 恵子
- 中村 康子 小倉 マリ子
- 松澤 歩 齋藤 三雄
- 須藤 勝 早川

ボランティアのご協力
ありがとうございます

- 中山 誠一 柏レイソル選手会
- 福山 直樹 やまと学院
- 室屋 みよ子 町田 進
- 松丸 孝一 恩田 晃江
- 小峰 拓馬 染川 章子
- 佐々木 毅・普子 匿名

○学習ボランティア

- 柴田 和子 田中 里奈
- 小林 由美子 小林 陽子
- 猿渡 英明 井手 慶子
- Noel Curry J V

○遊びボランティア

- 松田 瑞樹

○読み聞かせボランティア

- 口地 美恵子 深山 喜子
- 高橋 千尋 湯本 佳子

○ピアノボランティア

- 石井 美和

○幼児リトミックボランティア

- 黒田 静江

○花ボランティア

- NPO法人Imagine

- 副理事長 山下 緋沙子

- 松戸更生保護女性会

○掃除ボランティア

- フィリップモリス

○誕生日ケーキプレゼント

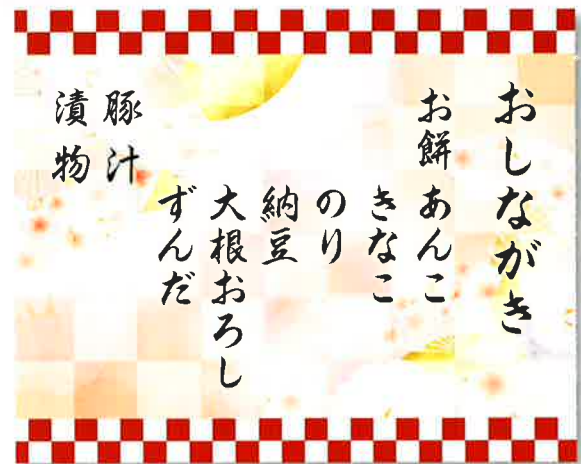
- オペラ座

もちつき大会のお知らせ

平成30年12月26日(水) 午前10時～正午

晴香園 中庭

※雨天決行



当日のお手伝いをして下さる方を募集しております。
お手伝いいただける方はご連絡ください。
よろしくお願いいたします。

連絡先

TEL 047-345-2722
【平日 9:00～17:00】

後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上
個人会員 年会費2,000円以上をお願いしています。

みずほ銀行 新宿西口支店
口座番号 普通 4645936
口座名 社会福祉法人 晴香 晴香園後援会
もしくは
ゆうちょ銀行 口座記号と口座番号 00120-4-356622
加入者名 晴香園後援会

まなび基金へのご寄付について

千葉銀行 小金原支店(042)
口座番号 普通 3580945
口座名 晴香園後援会 晴香まなび基金

※寄付金に関する詳細は、下記にお問い合わせください。
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145 社会福祉法人 晴香
TEL.047-345-2722 FAX.047-309-8807
E-Mail:info@s-haruka.org

編集後記

早いもので今年も締めくくりの時節となりました。1つずつ大きな行事が終わりほっとしつつも、残る行事も参加した全員が楽しめるものになるよう気合を入れ直しているところです。子どもとしてはお餅つきが楽しみなようで、昨年の話しを交えながら「今年はずっと食べるんだ」と今から張り切っている子もいます。年内最後の行事、食べ過ぎに気をつけつつも、皆で楽しめればと思います。

年の瀬も近くなったためか、中高それぞれ最高学年の子どもたちが進路に向けて不安や焦りが出てきました。どの中学へ行くか、行きたい高校へ行くために学力が足りない、就職先のイメージや住居が定まらない等、どれも大きな悩みです。今年は特に中学3年生が多いため、穏やかな年末年始は厳しそうです。

それぞれ笑顔で新学期を迎えられるよう祈るばかりです。



広報担当 三浦・大塚